

Sophia Ecology Law Seminar 2015
Aセミナー 「CSRと環境法を考える連続セミナー」(Aセミナー)
講師プロフィール

9/28 (月) 第1回「環境法、企業の現場で何が問題となっているか」

講 師	安達 宏之 (あだち ひろゆき)
所属等	有限会社 洛思社 代表取締役
	2002年より洛思社にて「企業向け環境法」「環境経営」をテーマに執筆、コンサルティング、セミナー講師等を行う。ISO14001 主任審査員 (一般社団法人日本規格協会嘱託)。著書に、『ISO 環境法クイックガイド』『クイズで学ぶ環境コンプライアンス』など (第一法規・共著)。上智大学法学部にて「企業活動と環境法コンプライアンス」を講義 (非常勤・15年度前半等)。

10/5 (月) 第2回「企業と環境法の半世紀 ～環境法と企業はどのように変わったか」

講 師	鈴木 敏央 (すずき としひろ)
所属等	鈴木敏央 ISO 事務所代表
	エコアクション EA21 審査人 (IPSuS)。元主任環境審査員 (CEAR)。企業の環境法担当者間で最も読まれているベストセラーの書籍『新・よくわかる ISO 環境法』(ダイヤモンド社)の著者で、著書多数。ソニー本社環境モニタリングセンター長、社会環境部長、環境監査担当部長を歴任後、(株)日本環境認証機構 (JACO) 取締役技術部長、(株)鈴木敏央 ISO 事務所代表取締役を経て、現職。環境管理規格審議委員会環境監査小委員会など公職も多数歴任。

10/19 (月) 第3回「EMSと環境法対応の現状報告 ～味の素の取り組み」

講 師	細田 彰 (ほそだ あきら)
所属等	味の素株式会社 生産戦略部
	1987年味の素株式会社入社。国内中心に工場にて製造、技術、品質、環境、安全を担当。2012年度より本社にて味の素グループ全体の環境活動の総括を担当。

10/26 (月) 第4回「環境法務の課題 ～環境法を守れるか」

講 師	尾上 雅典 (おのえ まさのり)
所属等	行政書士・エース環境法務事務所
	兵庫県職員として、2001～2003 年度の3年間、産業廃棄物の規制、事業者の指導・監督、許認可業務などに従事。2005年3月、兵庫県を退職、同年6月、行政書士事務所を開業。廃棄物管理に関する従業員教育、市場開拓・事業承継のアドバイスなど、廃棄物処理法に特化した法務サービスを提供してきた。「実務と行政の考え方の両方に精通した法務アドバイザー」として、講演や法務相談の依頼が全国各地から届いている。

11/9 (月) 第5回「弁護士から見た「企業とCSR・環境法」

講 師	高橋 大祐 (たかはし だいすけ)
所属等	弁護士・真和総合法律事務所パートナー
	弁護士 (日本) / 法学修士 (米・仏・独・伊)。日本弁護士連合会 CSR と内部統制に関する PT 副座長、日本 CSR 普及協会環境法専門委員会委員、第一東京弁護士会環境保全対策委員会副委員長。専門はグローバルコンプライアンス、CSR 法務、環境エネルギー法務、危機管理・紛争解決。著作に「グローバル時代の CSR 法務戦略」(証券アナリストジャーナル)、「コンプライアンス時代の事故対応・損害賠償の実務の手引」(民事法研究会 共著) 等。

11/16 (月) 第6回「ISO14001 改正の狙いと環境法 ～EMS はどこへ向かうか」

講 師	黒柳 要次 (くろやなぎ ようじ)
所属等	株式会社パデセア 代表取締役
	三井造船(株)、(株)長銀総合研究所、(株)イーエムエスジャパン代表取締役を経て、現在(株)パデセア代表取締役社長。環境マネジメントシステムに関し企業等へのコンサルティング、セミナー、審査を中心に活動。CEAR 登録環境主任審査員、環境省登録環境カウンセラー、エコアクション21 審査人参与、環境社会検定 (eco 検定) テキスト作成委員、環境省環境コミュニケーション大賞ワーキンググループ委員。